

閑静な森、ゆったりとした時の流れ

⑨⑦しのだの森ホスピタル（千葉県八千代市）



病院の外観

「この病院を選んで本当に良かったと皆様に言ってもらえる病院」——しのだの森ホスピタルが目指す21世紀の新しい病院の形だ。

スタッフが目指すのは患者に備わっている自然治癒力を最大限に引き出すことだという。

「医療はサービス業」と信田広晶理事長は言明する。利用者の声には常に耳を澄ます。かゆい所に手が届く。そんなサービスができるようスタッフ一同が日々研さんに励んでいる。

病棟・施設も一般の医療機関とはかなり趣を異にする。▽精神科病棟（急性期病棟・1病棟・2

病棟・3病棟・むつみ病棟）▽ストレスケア病棟（ストレスケア病棟「なごみ」・Natural Leaf）▽社会復帰関連施設（デイケア「かしの木」・若竹荘）▽動物園（しのだの森動物園）。

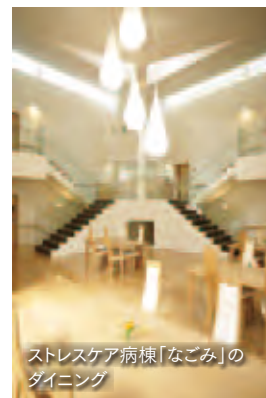
どの病棟・施設にも信田氏やスタッフの思いが込められている。例えば、急性期病棟。精神科ではまれなオープンカウンターのスタッフステーション。患者の声をいつでも聞けるように設えた。個室および個室の2床室のみの構成。プライバシーの保護や安心できる療養空間の提供にも気を配り、早期の社会復帰を支援する。



ストレスケア病棟「なごみ」



ストレスケア病棟「なごみ」の個室



ストレスケア病棟「なごみ」のダイニング



急性期病棟



デイケア「かしの木」



しのだの森動物園のクジャク

ストレスケア病棟「なごみ」はうつ病、パニック障害、睡眠障害など、ストレス疾患専門の病棟。森の中でくつろぐことで治癒力を高める。全室が個室だ。アロマテラピーやサウンドヒーリングなど、リラクゼーションメニューもそろっている。心理療法、東洋医学、自然療法、栄養療法、音楽療法などをバランス良く取り入れたホリスティック医療を実践する。

「ストレスケアに特化した場合、もう少し違う形での病棟運営ができないか」

信田氏のそんな発想から生まれたのが「病棟コ

ンシェルジュ」。患者を「もてなす」職員が「なごみ」に常駐する仕組みである。

「日々の生活に疲れ心が消耗した人を迎える上で必要なのは温かな雰囲気。『心が風邪をひいたかな』と思ったら気軽においでください」

病院が位置する八千代市は東京都心から30km圏内にある公園都市。閑静な森の中、ゆったりとした時間の流れの中に身を任せる。そこは心と体をオーバーホールできる場所である。

患者一人一人の体と心のリズムに目を向ける。選んでもらうために当たり前の努力がある。